

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	Kings オックスフォード英語研修【夏季】
-----	------------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	スーパーマーケット、外食
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	12000 円	eSIM を利用していたが、現地で通信障害に遭い、再度購入したため
現地通学費	3000 円	(研修先まで 20 分)
教養娯楽費	1100 円	Punting
被服費	20000 円	
雑費	50000 円	お土産等
その他	19417 円	例: クライストチャーチツアーなど
合計	175517 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードですべて支払えた。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM Orange 通信会社と World eSIM を利用した
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
長時間のフライトの為、ネックピローは役に立った。お箸やマグカップ、少しはフリーズドライのお米やお味噌汁も持って行っておいでよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省の旅レジに登録して情報収集をしていた。犯罪には巻き込まれていないが、地下鉄では特に周囲の人の目を気にした。かばんはチャックがついていないものは日本から持ってこないようにした。お土産を買った紙袋にお財布やスマホを入れないようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
二週間目にいきなり外でスマホが使えなくなり、通信会社に問い合わせた。通信障害であるメールが届いたが、復旧を待つ前に、新しい eSIM を購入した。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
毎日ハウスキーピングの方がごみを収集や掃除もしてくださるので清潔感はあったし、ある程度プライベートが保たれている空間だと感じた。部屋を共有する子とも仲が深まった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
Reading, Writing, Listening, Speaking の4技能取り扱うが、Reading と Speaking の割合が高いように感じた。やはり日本人は Reading や Grammar はできるが Speaking への抵抗がある場合が多いので、最初の一週間は気疲れしていた。また、一つの意見に対して必ず理由を聞かれるので、思考力もより求められると感じた。慣れてからは、使えるフレーズなど少し習得することができた。先生も、ネイティブでない生徒の対応に慣れている様子で優しかった。 良くなかった点は、週によって休み時間のばらつきがあって短い週と長い週があったため混乱した。建物の部屋の場所が少しわかりにくかった気もする。
2)課外プログラムについて
Punting と Pub でのボードゲームに参加した。様々な国からきた子たちみんな優しく仲良くなることができた。Punting は Oxford の景色を楽しむことができたし、日本ではあまりすることができないことだと思った。Pub でのボードゲームは、モノポリーやチェスをして遊んで楽しかった。
3)現地での生活に関すること
とにかく物価が高いので、毎日の食費でかなり消費した。果物や野菜はそこまで高くないしおいしかったのでできる限り自炊すると良いと思う。カフェやレストランもモバイルオーダーのところもいくつかあった。交通機関も困らず、バスも頻繁にあった。しかし郊外に出た際にタクシー移動をしようとしたが、日曜日は本当にタクシーがいなかったのでもそこは不便だと感じた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ドイツ、トルコ、サウジアラビア、イタリア、台湾、フランス、韓国など様々な国から来た子たちとコミュニケーションとることができた。中には放課後一緒に遊びに行ったり、休み時間にカフェに行ったりアクティビティを一緒に行く約束などをしたりした。SNS を交換して、もしその国に行くことがあれば連絡する約束をした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ランチしたり、買い物をしたり、コミュニケーションとるために精一杯の英語力で話した。時々、お互いの言語を教え合って打ち解けられる場面もあった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
信号は赤でも平気で渡る。土日は家族で過ごす人が多い。挨拶を大事にする。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

家族や友達と離れて一人で海外に行ったことがなかったため、いい機会だと思いこのプログラムに参加しました。寮から学校までは20分くらいあったがオックスフォードの街並みがとても美しく、気候も過ごしやすいため毎日歩いても全く苦ではなかったです。そして、何より一番楽しかったことは、色々な国の子と仲良くなれたことです。3週間の滞在は本当にあっという間で英語を話すことへの抵抗が無くなってきたころに帰国という感じでもっと居たいと思いました。もし、後輩の皆さんの中に短期留学へ迷う気持ちがあっても、ぜひ挑戦してみてください。短期留学はまだ海外に慣れていない方でも挑戦しやすいと思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	Kings Oxford 英語研修
-----	-------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	76,400 円	自炊:15,000 外食:61,000
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	13,000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 25 分)※バスだと片道£2.00
教養娯楽費	3,700 円	施設などの入場料・学校のアクティビティ代
被服費	6,000 円	Oxford University のスウェット購入
雑費	0 円	
その他	65,000 円	交通費:25000、お土産代:40000
合計	164,100 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 出発の際に空港で 8000 円程度を£40 に両替した

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

キャッシュレス決済が基本だったので、クレジットカードが 1 番役に立った。

現金が使えない店もあったので、現金に関しては、ロンドンの老舗デパートなどで買い物する際に、なるべくお釣りが出ないように使用した。

現金を多く持ってきていた友達(日本円で 3 万円程度)は、どこで現金を使い切ろうか悩んでいた。(結局、同じロンドンのデパートなどで使い切っていた。)

クレジットカードに関しては、基本 1 枚のカードを使い続けていたが、たまにバスの支払いでエラーが起きてしまったので、複数枚持っていた方が安心だと思った。

やはり AMEX だと使えない場所も多かったのも、VISA か Master をそれぞれ持っておくべきだと思う。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

docomo の「世界そのままギガ」というものを利用していた。料金は 3 週間で 13000 円程度かかったと思う。

SIM に比べるとかなり高いが、オックスフォードやロンドンなど、どの地域にいても基本的に問題なくインターネットを利用できた。

周りの友達はほぼ全員が SIM だったと思う。ただ、ある人はロンドンに着いた際に SIM が突然ロックされてしまったで一時的にスマホが使えなくなってしまったり(すぐ復活していた)、別の人はデータ通信が弱く、Wi-Fi の繋がる所でないとネットが使えず、LINE などのやり取りができなくて少し困っていた。もちろん、SIM 交換で問題なくスマホを使っている人もいた。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

1. 調味料

・基本的に自炊するつもりだったので、調味料があって助かった。

・同部屋の友達が持ってきたものと合わせて、麺つゆ、醤油、塩やガーリックソルトなどがあつた。

・麺つゆや醤油は日本の味付けをする際に大活躍だったし、ガーリックソルトも使い勝手が良く野菜炒めやリゾットの味付けなどで使用してすぐ無くなったので、持って行って良かった。

・徒歩圏内にアジアスーパーもあるらしく、そこではうどんなどの麺や、麺つゆなどの調味料があつた。(価格は、麺つゆ 340ml で £3.30 だった)

2. のど飴など

・機内での酔い止め代わりやのどの乾燥防止ではもちろん、現地で風邪になった際に大活躍だった。

3. 風邪薬や喉の痛みに効く薬

・同室の友達 2 人が 1 週目にかなりひどい風邪を引き、1 週間程度は咳や喉の痛みで辛そうだった。

・友達が自分で持ってきていた薬と、私が持って行った薬(3,4 日程度)の全てを使い切るくらいだった。

・現地で風邪薬をもらいに行こうとしていたが、その程度だと病院では薬を出されないの自分で用意して持って行った方が良かったと思った。(風邪を引いた友達は普段減多にひどくならないタイプなのに…と話していた。)

3. キッチン用品

・スポンジ、食器用洗剤、食器を拭く布巾を持って行った。

- ・洗剤は現地スーパーにもあった気がするが、スポンジや布巾らしきものはあまり見かけなかった。
- 4.ハンガー
- ・乾燥機 1,2 時間かけても乾かない服が何着もあり、室内干しの際に利用していた。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

- ・滞在中にかなり大規模なデモがイギリスの様々な地域で起きており、オックスフォードの中心地でも抗議活動が行われた日があったが、それに関する情報は語学学校側が Teams など随時連絡してくれた。
- ・上記に関する情報を、LINE ニュースや X など調べて見ている。
- ・スリに関しては、ロンドンに行く際にあらかじめ発生の多い地域や状況を調べておいた。
- ・1 人行動がほとんどだったが、できる対策は行い、日が落ちる前に帰り始めていたからか、問題なく過ごせた。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

- ・基本的には問題なく使用できた。
- ・場所によっては通信が弱く、ネットが使えない時もあった。

滞在形態関連

1)留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2)部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)

3)共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

- ・Steven Close という寮に滞在した。部屋は綺麗だった。調理器具(鍋・フライパン・食器・包丁やまな板など)はすごく綺麗ではないけど汚いわけではないので、最初は少し抵抗がありつつも、すっかり気にせず使用していた。器具セットの中に布巾も入っていたが、使用感はあるので自分が持ってきたものを食器拭きに使い、寮にあったものを台所や机を拭く用にして使い分けた。
- ・初日に現地に住む日本人の方から簡単に寮の説明があった。また、管理人の方(イギリス人)は朝から夜頃までいたので、何かあったら質問できる状況だった。
- ・周りは静かな住宅地なので、1 日を通して静かに過ごせる環境だった。街の中心地や学校までは徒歩 25 分くらい。中心地にはスーパーも揃っているので問題なく生活できた。(寮の目の前にはバス停があり、頻繁に運行していたが、徒歩で問題なかったのも、ほぼ使わなかった。)
- ・寮にネコがいて、とても可愛かった。滞在中の日本人みんなそのネコの虜になっていた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

1 クラス 15 名と、多過ぎず少な過ぎずの人数だったのが、ちょうど良かった。若干私のクラスだけ日本人が固まってしまったのは残念だったが、それでも色々な国の人と話す機会があって楽しかった。

2)課外プログラムについて

- ・現地の学校が放課後にはほぼ毎日アクティビティを実施していた。オックスフォードカレッジツアーや週末のロンドンツアー、スポーツやゲームなど、有料のものもあれば、無料のものもあった。
- ・バンティングというアクティビティに参加したが、これが 1 番人気そうだった。快晴の中ボートに乗って 1 時間くらいのんびり過ごし、楽しかった。

3)現地での生活に関すること

- ・オックスフォードは、治安面や衛生面に関して心配することは無く、日照時間も長いので 20 時頃までは外も明るく安全に過ごせた。街並みが The ヨーロッパな雰囲気なので、散歩するだけで楽しかった。もちろん、クライストチャーチやニュー・カレッジなど、歴史的な魅力の詰まった見所も沢山あり、3 週間の平日を使ってオックスフォードを満喫した。パブやバー、カフェはどのお店も雰囲気があり、店内にいても楽しく、料理もすごく美味しかった。

・ロンドンまではバスで 2 時間だが、高速バスのようなもので寝ながら移動できて快適だった。滞在中に休日は 4 日あったが、3 日はロンドンに出かけた。1 日はコッツウォルズのバーフォードに行った。バスを乗り換えて 1 時間半程度で行けて、ロンドンやオックスフォードとはまた違った雰囲気を楽しめた。他の友達も、コッツウォルズのバースに行ったり、ウィンザー城に行ったりしていた。

・学校のクラスは 15 人近くいて、想像していたよりも多かった。私のいたクラスは半分がヨーロッパ、半分がアジア(主にトルコ・日本)という編成だった。授業内ではペアワークやアクティビティが多いので、他の国の人と話す機会は沢山あった。個人的には、会話のタネのためにも、もっと色々な国に関して知識を持っておくべきだったと少し後悔した。また、休み時間中にお菓子などを食べる人も多く、私も自分が日本から持ってきたグミをあげたりすることで交流できたので、日本の気軽に食べられるお菓子を持って行ったら、会話のきっかけになると思う

・寮生活なので、部屋では自分の時間を過ごせてちょうど良かった。程よく 1 人の時間を楽しみ、程よく同部屋の子とはしゃぎ、個人的にはバランスの良い生活だった。自炊は大変かと思ったが、協力しながらカレーやシチュー、パスタやリゾットなどを作って、ちゃんと野菜の摂れる食事ができた。友達の案でタコスパーティーをしたのがとても楽しかった。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

・オックスフォードの学校に通う学生と関わる機会はなかった

・同じ語学学校に通う海外の人とは、授業の合間に話したり、一緒に昼食を食べたりした。周りの日本人の友達も、一緒にアフタヌーンティーに行ったり、オックスフォード市内を散歩したり、Instagram の dm で連絡を取っていたりと、海外の学生との交流を楽しんでいた。

2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

・学校側が主催するアクティビティでは、同じクラス以外の海外の学生と出会える機会があった。私はパンティングというアクティビティに参加したが、その際に他クラスの生徒と話せた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

・とにかく海外の人は「話す能力」に長けていること。

留学を通して、英語力よりも、自分の考えをまとめるスピードや会話のタネを見つける力、知っている知識の少なさに対して力不足を感じた。私は英語に関してリスニング力とスピーキング力は皆無だったので、授業について行くのはかなり大変だったが、「英語が話せないから・聞き取れないから」というよりも、例えばディスカッションのテーマに対して発想・思考力や言語化のスピードが弱いから、「なかなか思うように話せない・ついていけない」と思った。私とは反対に、海外の学生は自分の意見をまとめるのがとにかく早く、またその意見もしっかりと厚みのあるものだった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この 3 週間は振り返っても夢のように思える毎日で、間違いなくかけがえのない経験と思い出になりました。日々オックスフォードの街を歩き、週末にはロンドンやコッツウォルズに行きまた違った土地を楽しみ、とにかく毎日が新鮮でした。オックスフォードに関しては、案内できるくらいには詳しくなつたと思います。

留学が初めてで、日頃から英語を話したり、海外の人と関わる機会が全く無かったので、学校は緊張しましたが、楽しく 3 週間通うことができました。先生にわからないことを質問すると、丁寧に教えてくれました。

誰も知り合いがいない中参加しましたが、一緒に滞在する日本人の子達とはすぐに仲良くなれましたし、留学が終わった今も連絡を取り合っています。海外の子とも、沢山話して、写真を撮って、ご飯を食べて、楽しく過ごしました。

もし、英語力に自信がないから留学を躊躇っている人がいたら、恐れず挑戦してみてください。私は全く英語が話せませんし、聞き取れません。留学前は就活や期末テストに追われて英語の勉強を全く手につけず渡航しました。英語ができない分、周りよりも苦勞することは多かったですが、何とか乗り切れます。ぜひ挑戦してみてください。最高の夏が待っているはずです！！

今にでも戻って、あの 3 週間を過ごしたいと思うくらい、幸せな時間でした。きっとまたイギリスに来た際には、オックスフォードに遊びに行く気がします。そのくらい素敵な街で、思い入れができた場所です。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	Kings オックスフォード英語研修
-----	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約5万 円	自炊しなかったため高額になった
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	約4万 円	
被服費	約1万 円	思ったより寒かった
雑費	円	
その他	円	例:
合計	約10万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意した物: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレカのタッチ決済
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Three の sim 低速になることがあった
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
レンジでできるお米、インスタントのお味噌汁。食費を抑えるためにも食べ物は多めに持っていくべき。 コンセントの変換プラグは2個以上持っていけばよかった

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
観光する際はチャックつきのウエストポーチを使用していた
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Wi-Fiは寮も学校も問題なかった 先述したが、モバイルデータで低速になることがあった

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
自炊を普段しない人はインスタント系の食料を持っていくべき

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
先生たちはとても親身で、質問もしやすかった。ただ語学学校なのでネイティブスピーカーと話す機会はそれほど多くなかった。
2)課外プログラムについて
私はあまり参加しなかったがスポーツやツアーなど色々あった。プログラムに参加しなくても個人で観光するなどして楽しめた。
3)現地での生活に関すること
授業以外はフリーだったため、良くも悪くも自分で考えて行動する必要があった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業中に会話し話せるようになった。ただ入れ替わりが激しいため深い仲になるのは難しい。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
インスタを交換した。友人はご飯にいていた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
お店に入った時に客側も挨拶すること、ホームレスが店の前などに普通にいること

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

初めての海外で留学すること出発前はものすごく不安だったが、同じプログラムの子たちとこの助け合いながら、楽しい留学にすることができた。スーパーで買いものをしたり、現地での生活を体験できた。ロンドンに行ったり、観光もできた。勉強面は、英語の勉強をそこまでせずに出発してしまったため、最初全く聞き取れずすごく苦労した。出発前にリスニングだけでもやっておくべきだった。英語能力的にイギリスに留学するか迷ったが、本当にイギリスにしてよかったと心から思う。日本人と似た国民性のため、初海外の私もカルチャーショックを受けなかった。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開します。また、学内発行の留学関連冊子等にも掲載されることもありますので、ご了承下さい。
その際は匿名で公開します。

研修名	Kings オックスフォード英語研修
-----	--------------------

留学費用項目 (研修費用は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約25000 円	基本自炊で数回だけ外食しました
図書費・学用品費	0 円	テキストはコピーで配られる形式。ノートも配布された。
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 20 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	12000 円	着る服は持って行った分で足りたが、別途ほしい服を買ったため。
雑費	50000 円	お土産や自分用のお土産
その他	20000 円	例:ロンドンへの交通費など
合計	113000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発時に日本の空港で両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にどこでもカード決済が可能。カードしか使えないところも多い。また、コンタクトレス機能があれば交通機関がそのまま使えるので便利。数枚用意しておくのが安心。ただ、友達と一緒に支払いをしたあとと清算するため、そして万が一のため現金も多少用意しておくべき。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Sim カード。案内の中に入っていたものを利用し、飛行機の中で入れ替えた。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
お米を10合と、袋で炊ける炊飯袋(100均のもの)。食費がかなり浮いた。また、具体的な生活をイメージして日本の 100 均で帰るものは準備していた方が節約できるし、現地で手に入れるより楽。
普段はあまり飲まないが、最後の数日体調を崩したため薬をもっと準備しておくべきだった。圧縮袋を忘れたのも失敗だった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ロンドンだとスリやひったくりに狙われやすいと聞いていたので、ウエストポーチを利用したり、スマホにチェーンを付けて対策したりした。特に危険な目には合わずに済みました。ただ、クラスメイトの中にはロンドンで危ない目にあったことがあるという人もいたので十分対策はしておくべきかと。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
スーパーなど場所によっては市街地でも接続が悪かったが、大きな問題はなく使えた。ただ海外という事もあるので、確実にネット環境があるところで事前に電車などは調べてスクショしておくのと安心。また、モバイルバッテリーは必需品だと感じた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数3人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
蜘蛛やハエなどが多く、日本とは違った衛生環境に適應するのが難しかった。友達との共同生活自体はとても面白かった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
ちょうどいい距離にサポートがあって安心だった。基本的には自由で、でも何か本当に困ったら日本語で助けを求められる場所が近くにあるというのは精神的にすごく安心。また私たちのプログラムは日本人が多すぎなくて、ちょうどよく他のクラスメイトとも話ができて日本人ばかりで固まるのが少なかったのがよかった。授業の席は日本人で固まらないように意識していた。
2) 課外プログラムについて
ハリーポッターのスタジオツアーに申し込んだ。ステイ先の近くからバスでそのまま連れて行ってもらえたのでとても楽しかったし、遠出だったけれどそこまで疲れずに済んだ。時間は足りなくてもっと長い時間いたかったと思いましたが、それ以外は大満足のツアーでした。学校のアクティビティには参加しなかった。長期で通っているクラスメイトに聞いてみても、一度だけ参加したことがある、もしくは参加したことないといった人が多かった。
3) 現地での生活に関すること
三週間という限られた時間なのもあって、極力アクティブに動き回った。近くの観光地に授業終わりに行ったり、週末はロンドンへ行っていたり、とにかく時間を有効に使っていた。オックスフォードの観光地はほとんど回ったが、最後の一週間は暇になってしまったので体調さえよければもっとロンドンや他の場所にも行ってみたいかったと思う。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
語学学校だったため現地の人とはあまり関わりがなかった。しかしトルコやイタリア、韓国など様々な国から来たクラスメイトとたくさん話ができて楽しかった。みんな英語を勉強中なので詰まることもあったし、時々辞書を引っ張り出してきて会話することもあったが、いい経験になったと感じる。お互いの国に旅行した時の話など、共通の話題が見つかることもあり楽しかった。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
なし

異文化体験について
1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
車が左側通行だったり、そこまで大声で話す人が少なかったり、日本と似ているなと感じたところも多かった。印象的だった異文化体験はすごくジョークが多いこと。先生も、たまたま観光地で写真を撮ってくれた人も、店員さんもナチュラルにジョークを言うので最初は予想外で聞き取れず戸惑った。初対面の人にも軽くジョークを言えるようなフランクさが面白いなと思った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

3週間という限られた時間の中で、英語の勉強はもちろん、文化的な面でもたくさんの刺激を得て学んだことが多かったと感じます。研修のメインとなる学校生活では、国も言語も年齢も全く異なる人たちと毎日いろんな話をして、たくさん刺激を受けました。授業では話すことがメインで、もちろん全て英語でのコミュニケーションでしたが最初にテストでクラス分けがあったので英語力が同じくらいの人たちと一緒にやりやすかったです。また、友達との共同生活は手探りの部分も多かったですが面白いこともたくさんありました。オックスフォードという都市は大学都市でありながら観光地でもあるので学生も観光客も多く、ロンドンと比べるとそこまで都市部でないながらも賑わっているところだと感じました。最後の週にはかなり生活に慣れて、離れるのが惜しかったです。今回の研修を終えて、第二外国語や趣味で学んでいる他の言語学習ももっと頑張りたいと思いました。また、日ごろからもっと社会問題にいろんな考えを巡らせておくべきだと感じました。そもそも日本語でもうまく説明できないことを英語で語るのとはとても難しく、自分の考えの浅さを実感することが多かったです。成功体験や嬉しかったこともたくさんあったし、反省点もたくさん見つかった三週間でした。この体験をこの先の生活に活かしていきたいと思います。
